

# 地域に染まる倉庫

1190062 草竹 克樹

指導教員 吉田 晋

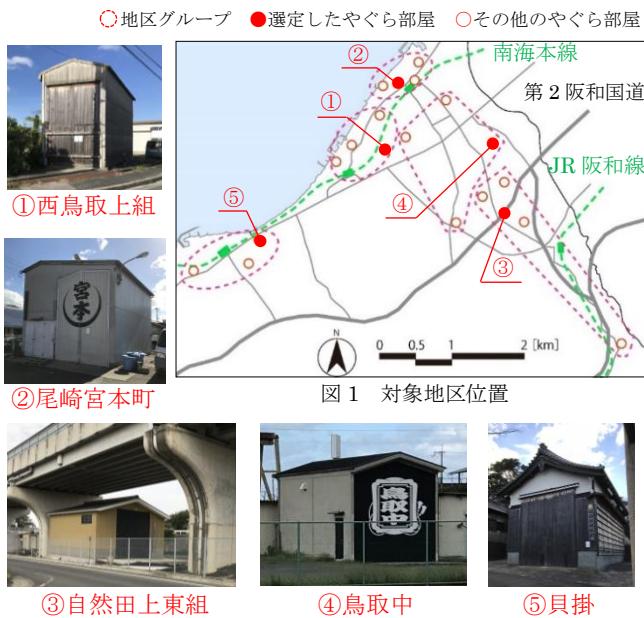
高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻

## 1. はじめに

私の出身地である大阪府阪南市はやぐらという大阪南部の泉州地方で一部使われている山車を曳いて五穀豊穣を祝うやぐら祭りという秋祭りが行われている。

## 2. 対象敷地

やぐら本体を保管しておく倉庫のことをやぐら部屋といい、阪南市内には5つの地区グループからなる20個のやぐら部屋があり、各グループからそれぞれ違う問題点や特徴を持つものを1つずつ選定する。



## 3. やぐら祭りの魅力と問題点

### 3-1. 魅力

200年近く続いている歴史的な祭りとなっており、やぐらの宮入の際は他県からの観光客も来るぐらい阪南市の1つの大きなイベントとなっている。

### 3-2. 問題点

やぐら祭りは少子高齢化や子供たちの祭への関心の

薄れの影響から曳き手減少に悩まされており、一部の行事に参加できない地区がある。

また、現在使われているやぐら部屋の多くは形が単調で、やぐら部屋が建てられている敷地は普段も祭りの際にも活用されていない状態である。

## 4. 計画

多くの人が祭りに関心を持ち、祭りの面白さを知つてもらえるように祭りの参加者と関わるきっかけの場を計画する。

## 5. 設計方針

やぐら部屋が祭りの際に空箱となっているため、地区の本部かつコミュニティの場として機能を持たせ、日常的に使われていなかった敷地にそれぞれ日常的な機能を持たせることで、利用する人たちが祭りの時や準備期間に祭りに参加する人と接する場所となる。

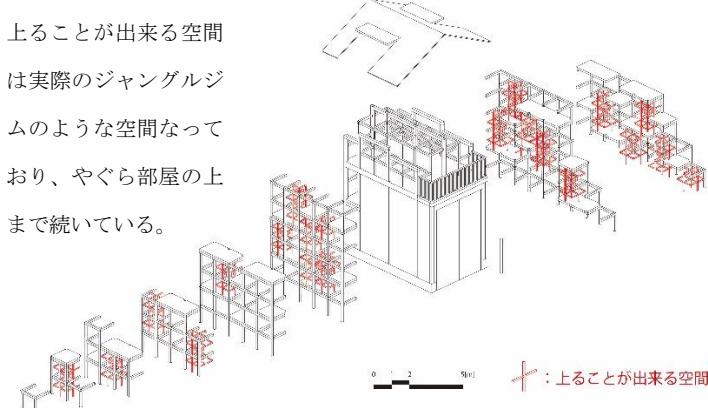
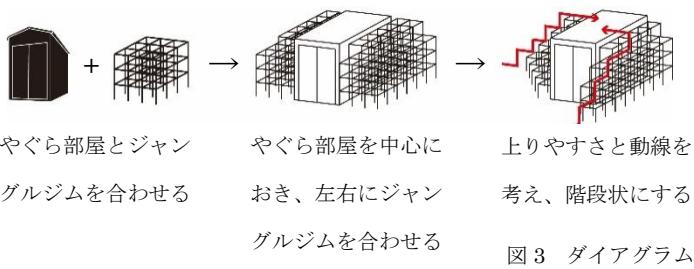
## 6. 設計

### 6-1. 西鳥取上組

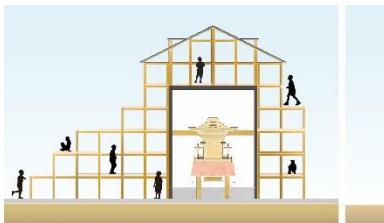
対象敷地の北西方向約200mに小学校があるが、周りには遊ぶ場所が少ない。



子供の遊び場となるように遊具としての機能を組み合わせ、日常的に子供たちの空間とする。



また、やぐらは凹凸した形のため、後ろの空間を一部  
ジャングルジムとし、左右のジャングルジムをつなぐ。



## 6-2. 尾崎宮本町

やぐら部屋周辺は住宅街に囲まれており、周辺には  
公民館や阪南市の中心駅である尾崎駅がある。



対象敷地周辺は駅前なので多くの人が通り、近くには農業協同組合があり、農業者一つの拠点となっているため直売所としての機能をもたせる。

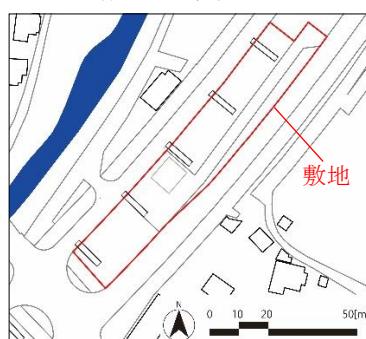


阪南市には泉州地方特有の野菜が  
多くあり、特に米の裏作として玉ね  
ぎが多くつくられていたため玉ねぎ  
小屋(写真1)という小屋が多数ある。

地域の人に馴染み深いこの玉ねぎ小屋をやぐら部屋  
と組み合わせ、直売所としての機能を持たせる。



## 6-3. 自然田上東組



国道沿いにあり、他市町村の人が目にしやすいため、やぐら祭りのギャラリーとしての機能を持たせ、多くの人に立ち寄ってもらえるような空間とする。

## 6-4. 鳥取中

鳥取中の敷地は最も広く、住宅街と工場地帯の間に位置しており、夏祭りの会場としても使われているが、日常的には活用されていない。

夏祭りでの会場としても使えるように広場を作り、周りに飲食店や休憩スペースの空間とし、工場で働く人など周りの人が利用しやすい空間とする。

## 6-5. 貝掛

日常の用途として青年団の人数が多く、やぐら部屋が神社内にあるので、神社の静かな空間を活かし、学習スペースを組み合わせることにより、日常的に学生の居場所となる空間とする。

## 7. まとめ

活用されていなかった敷地に日常的な機能を取り入れることで地域の一つのコミュニティの場となり、祭りの時期には新たな人や雰囲気が加わることで祭りとしての新たなコミュニティの場として変化する新たな祭りの倉庫としての在り方を考えることができた。

## 8. 参考文献

- ・自然田上東組やぐら新調記念誌（著者：自然田上東組やぐら新調委員会）
- ・阪南市の祭・やぐら（<http://yagura.main.jp/index2/index2.html>）